

# メッケル憩室穿孔による汎発性腹膜炎の一例

三上 隆一 張村 貴紀 田中 亮介  
平野 憲二 河原 一雅 二見喜太郎  
有馬 純孝

福岡大学筑紫病院外科

**要旨：**症例は58歳，男性．2004年5月13日，突然の右下腹部痛が出現し，当科に入院となった．右下腹部を中心とした強い圧痛があり，筋性防御を認めた．腹部単純X線では多量の小腸ガス像が見られ，腹部CTでは肝表面に free air を認めた．下部消化管穿孔による汎発性腹膜炎の診断で，緊急手術を行った．開腹にて，多量の膿性腹水を認め，回盲弁より 55cm 口側に大網に被覆された憩室の先端部に穿孔が見られた．同部含む回腸を部分切除し，腹腔内洗浄ドレナージ術を行った．組織学的には憩室内に異所性胃粘膜を認め，潰瘍形成による穿孔と考えられた．

**索引用語：**メッケル憩室，穿孔，汎発性腹膜炎，異所性胃粘膜